
「Multimodality image を用いた脳腫瘍病態の観察」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、【埼玉医科大学国際医療センター臨床研究倫理審査委員会】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2019年05月08日から2024年03月31日の期間に【埼玉医科大学国際医療センター】を受診し、脳腫瘍と診断され、メチオニン PET 検査を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

脳腫瘍の画像診断、経過観察は基本的に頭部 MRI 検査で行います。しかし MRI 検査は脳の形態をみる検査であり、腫瘍の活動性まではわかりません。そこで、PET 検査を用いて、脳腫瘍が正常脳組織と比べて、どのような活動性の違いがあるのかをみることで脳腫瘍の病型診断、再発診断、治療効果判定などを行うことができないかと考えています。あなたにとって最も適切な医療を施した結果としての診療情報や試料を用いた研究です。

3. 研究期間

病院長の許可後～2024年03月31日

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

脳腫瘍診断時に頭部 MRI (単純 + 造影)、MRS、PET (FDG, メチオニン) 検査を行います。フォローアップとして頭部 MRI (単純 + 造影) を、患者さんの病態に応じて2ヶ月毎～12ヶ月毎に行ないます。MRS、PET (FDG, メチオニン) は概ね12ヶ月毎に行いますが、腫瘍の増大、再発が疑われる場合は適宜行います。以上は当科で通常、実施しているものです。

この研究で得られた患者さんの情報は、【埼玉医科大学国際医療センター臨床研究】において、研究責任者である白畑充章が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

脳腫瘍と診断された患者さんを対象としてメチオニン PET 検査を実施します。検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

三島 一彦 国際医療センター 脳脊髄腫瘍科 教授
鈴木 智成 国際医療センター 脳脊髄腫瘍科 准教授
白畑 充章 国際医療センター 脳脊髄腫瘍科 講師
久慈 一英 国際医療センター 画像診断科 教授
瀬戸 陽 国際医療センター 核医学科 講師

4. 試料・情報の管理責任者

< 提供元機関 > 【埼玉医科大学国際医療センター】 病院長 佐伯俊昭

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

- ・ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができますので、以下の連絡先までご連絡ください。

埼玉医科大学 国際医療センター 脳脊髄腫瘍科 白畑 充章

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4177（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：Multimodality image を用いた脳腫瘍病態の観察

○研究責任（代表）者：国際医療センター 脳脊髄腫瘍科 白畑 充章